キャサリン・ヘプバーン

Katharine Hepburn

生年月日 1907/05/12
出身地 アメリカ／コネティカット州ハートフォード
没年 2003/06/29
関連人物 キャサリン・ホートン（姪）

【バイオグラフィ】

■本名はKatharine Houghton Hepburn。飾り気のないスタイルと個性的な魅力、比類なき演技力で万人から愛された演技派大女優で、現在のところオスカー受賞４回という最多記録を持つ。著名な外科医の家庭に６人兄妹の２番目として生れる。１２歳でアマチュア劇団の舞台を踏み、女子大でも演劇に熱中する日々を送り、卒業後エドウィン・ノッフの主宰する劇団に入りプロ・デビュー。同年ブロードウェイでも舞台に上がる。３２年の舞台で注目されＲＫＯと契約し「愛の鳴咽」で映画デビュー。翌年の出演３作品目の「勝利の朝」で大絶賛され、アカデミー主演賞を受賞。４０年の「フィラデルフィア物語」は、前年ブロードウェイで幕を開けると、すぐに彼女自身が映画化権を取得、ＭＧＭに持ちこんだという経緯もあった。４２年「女性Ｎｏ．１」でスペンサー・トレイシーと初共演し以降、計９本を共にして公私に渡って親密な関係を続けたのは有名な話（６２年の“LONG DAY'S JOURNEY INTO NIGHT”出演以降の５年間は映画に出ず、病に伏したトレイシーを彼の妻と交代で看病していた）。６７年トレイシーの遺作となった「招かれざる客」で２度目の、翌年「冬のライオン」で３度目のオスカーに輝く。その後プロードウェイの舞台と映画に間隔を置きながら出演。８１年の「黄昏」で４度目のオスカーを手中にした。「アフリカの女王」、「旅情」、「去年の夏突然に」も代表作として明記したい。結婚は２８年に学生時代から交際していたフィラデルフィアの名士の息子としたが３４年に離婚。「招かれざる客」のキャサリン・ホートンは姪にあたる。０３年０６月、老衰のためこの世を去った。

【フィルモグラフィ】

映画の巨人　ジョン・フォード（2006）	出演
めぐり逢い（1994）	出演
たった一度のクリスマス／ある逃亡者との物語（1992）	出演
ニック・ノルティ／キャサリン・ヘップバーンの 愉快なゆかいな殺し屋稼業（1985）	出演 :グレイス・クイグリー
黄昏（1981）	出演
ゆかいな風船旅行（1977）	出演 :ミス・パッド
オレゴン魂（1976）	出演 :ユーラ・グッドナイト
恋の旅路（1975）	出演
トロイアの女（1971）	出演
シャイヨの伯爵夫人（1969）	出演
冬のライオン（1968）	出演
招かれざる客（1967）	出演 :クリスティーナ・ドレイトン
夜への長い旅路（1962）	出演
去年の夏 突然に（1959）	出演
おー！ウーマンリブ（1957）	出演
雨を降らす男（1956）	出演 :リジー
ロマンス・ライン（1956）	出演

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.

旅情（1955）	出演
パットとマイク（1952）	出演
アフリカの女王（1951）	出演 :ローズ・セイヤー
アダム氏とマダム（1949）	出演
愛の立候補宣言（1948）	出演
大草原（1947）	出演 :ルーティ・キャメロン・ブリュートン
愛の調べ（1947）	出演
底流（1946）	出演
ステージドア・キャンティーン（1943）	出演
火の女（1942）	出演
女性Ｎｏ．１（1942）	出演
フィラデルフィア物語（1940）	出演
赤ちゃん教育（1938）	出演 :スーザン・ヴァンス
素晴らしき休日（1938）	出演
ステージ・ドア（1937）	出演
偽装の女（1937）	出演
女性の反逆（1936）	出演 :パメラ・シスルウェイト
メアリー・オブ・スコットランド（1936）	出演
男装（1935）	出演
乙女よ嘆くな（1935）	出演
心の痛手（1935）	出演
野いばら（1934）	出演
小牧師（1934）	出演
勝利の朝（1933）	出演
若草物語（1933）	出演
人生の高度計（1933）	出演
ヘプバーン＆トレーシー物語（1933）	出演
愛の嗚咽（1932）	出演

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.